

病害虫発生予察情報
6 月月報

令和 6 年 7 月 1 2 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2024年 6 月	気温（℃）						降水量		日照時間	
	最高		最低		平均		(mm)		(h)	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
								(%)		(%)
上旬	25.7	0.1	16.4	-0.1	20.4	-0.3	62.5	139.5	52.3	99.8
中旬	28.6	2.4	18.8	0.6	23.5	1.8	90.0	131.8	79.8	202.5
下旬	28.5	1.4	17.1	-2.5	24.4	1.5	131.0	244.9	24.2	78.6
平均	27.6	1.3	17.4	-0.7	22.8	1.0				
合計							283.5	170.2	156.3	127.5

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：期間のはじめは気圧の谷や上空の寒気の影響で曇りや雨となり、雷を伴って 大雨となる日もあった。期間の中頃は高気圧に覆われて晴れまたは曇りとなったが、期間 の終わりは低気圧や前線の影響で曇りや雨となった。

中旬：この期間の平均気温はかなり高く、日照時間もかなり多く、その上降水量まで多くなった。

下旬：前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に 21 日と 28 日は 本州付近を低気圧が東に進んだ影響で大雨となった。

なお、関東甲信地方では 6 月 21 日ごろ梅雨入りしたと見られる(速報値)。

2 作物生育概況

(1) イネ

田植えは 6 月に終了、生育は平年並みであった。

(2) 野菜

果 菜 類：エダマメなどで生育や開花が早まった。トマトは裂果が多い傾向。降雨の影響でスイートコーンの倒伏が見られた。

葉根菜類：生育は概ね平年並みで順調であった。

イ モ 類：ジャガイモの収量は平年並みであった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。

巨峰、安芸クイーンおよび高尾で開花始・盛期は平年より 5～6 日早かった。

巨峰 :開花始 5 月 21 日(－6 日), 開花盛 5 月 24 日(－6 日)
 安芸クイーン:開花始 5 月 21 日(－5 日), 開花盛 5 月 24 日(－5 日)
 高尾 :開花始 5 月 20 日(－5 日), 開花盛 5 月 22 日(－6 日)

(4) 茶樹

5 月の深刈り後の新芽の生長が例年より緩やかであった。病虫害は前年度より抑えられている。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病(苗)	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< やや多 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数はやや多かった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< 少 >	フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯への誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病虫害

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
----	-------	-----------

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 並 >	巡回調査での発生及びフェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
ネギ		
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 花きの病害虫		
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
(6) 島しょの病害虫		
八丈島のフェニックス・ロベレニー（ネットハウス内）で、炭疽病の発生が多かった。		
小笠原のレモンで、サビダニ類の発生が多かった。		

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp
/nourin/shoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。